

監督・代表者会議資料

和歌山県中学生バドミントン連盟

＜競技上の注意事項＞

1. 本大会は、本年度（公財）日本バドミントン協会競技規則及び、大会運営規程並びに公認審判員規程に基づき実施する。
2. プログラムの誤記・訂正・棄権等がある場合は本監督会議にて必ず報告し、了承を得ること。ベンチ入りする監督やコーチに変更がある場合も同様とする。
3. 初回戦以降は流し込み方式で進行するが、進行状況により試合順序が変更される場合があるため、館内放送に十分注意すること（タイムテーブルはあくまで予定）。試合コール後は速やかにコートに入ること。コール後5分を経過しても選手がコートに入らない場合は棄権とみなす。
4. 試合進行は、原則としてダブルス、シングルス順に空いたコートより入れていく。
5. 試合が連続する場合は、原則として前試合終了から10分後に次の試合を開始する。
6. 選手は背面にチーム名（学校名）及び選手名が記載されたゼッケンを着用すること。ゼッケンは必ず四隅を固定し、文字色は黒または濃紺とする。
7. 競技中の着衣は、（公財）日本バドミントン協会審査合格品または中学校指定体操着とする。試合開始時には上衣の裾を下衣の中に入れること。
8. ベンチには監督または生徒のいずれか2名まで入ることができる。
9. インターバル時のアドバイスはベンチ入りしている者に限る。
10. 試合中の給水及びタオルの使用はインターバル時または主審の許可がある場合に限り認める。容器は蓋付きで、倒れてもこぼれないものを使用すること。
11. 試合球は、（公財）日本バドミントン協会検定球を使用し、室温に適したものを選定する。
12. コート及び競技区域内において、選手、監督及びコーチ等による電子通信機器（携帯電話、スマートフォン、タブレット端末等）の使用を禁止する。
13. 試合中のトラブルについては、その時点で双方の監督及び大会役員が協議の上、対応する。

＜審判上の注意事項＞

主審は原則としてそのコートでの敗者が担当する。ただし、初回戦のみ本部より主審を指名する。

1. 線審（得点係）は試合を行うチームから1名ずつ選出すること。
2. サービスジャッジは原則として配置しない。
3. 試合前に1回の試打を認める。
4. スムーズかつ円滑な試合進行のため、選手はその都度得点を確認しながらプレーすること。得点係もスコアに誤りがないか確認しながら行うこと。

＜会場使用上及び一般上の注意事項＞

1. 体育館使用上の諸注意を厳守し、ゴミは各チーム及び個人で責任を持ってすべて持ち帰ること。
2. 荷物及び貴重品は各自の責任で管理すること。紛失・盗難等に関し、一切の責任を負いません。
3. 観客席からの写真・動画撮影は可とする。ただし、SNSや動画投稿サイト等、不特定多数が閲覧可能な媒体への公開は一切禁止する。あくまで良識の範囲内で個人利用に限る。
4. 熱中症対策については、各チームで十分に注意・対応すること。